

平成28年度

佐世保市の環境問題に関するアンケート集計結果

(経年変化等の分析)

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	関心が高い環境問題について	3
3	求められている環境に関する取組	5
4	住まいの周辺環境の満足度	6
5	日頃の環境に関する取組の状況	8
6	環境保全の取組	11

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

環境基本計画の策定にあたり、市民の意識、意識の変化、環境行政に対する要望を把握し、計画策定に利用することを目的とし、次のとおりアンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

市民：3,000人、20歳～80歳の市民から地域別に無作為抽出

事業者：250事業所、業種別に無作為抽出

(3) 実施期間

平成28年9月12日（火）～平成28年10月11日（火）

(4) 回収状況

回収数、回収率は以下のとおりでした。

表 アンケート調査票の回答数・回収率

	回収数	回収率
市民	1,094件	36.5%
事業者	116件	46.4%

※平成28年11月8日時点

(5) 調査項目

<市民アンケート 項目別設問一覧>

	設問案	環境基本計画策定での利用方法
	回答者の属性	回答者の確認
問1	関心が高い環境問題	意識の変化の把握
問2	周辺環境の満足度と重要度	施策の検討、基本目標の検討

問 3	日常の環境保全の取組	取組状況の変化の把握
問 4	環境保全の取組を実施する上で障害と感じていること	取組の後押しとなる施策の検討
問 5	省エネルギーや再生可能エネルギーの利用状況と取組予定	温室効果ガスの将来推計
問 6	自由意見（要望や施策に対するご意見やご提案）	市民意識の把握

＜事業者アンケート 項目別設問一覧＞

設問案		環境基本計画策定での利用方法
	回答者の属性	回答者の確認
問 1	関心が高い環境問題	意識の変化の把握
問 2	環境に関する経営方針や管理手法	施策の検討
問 3	事業活動における環境保全の取組の状況	取組状況の変化の把握
問 4	環境保全の取組を実施する上で障害と感じていること	取組の後押しとなる施策の検討
問 5	高効率照明機器の導入について	現状の把握 温室効果ガスの将来推計 取組の後押しとなる施策の検討
問 6	高効率空調機の導入について	
問 7	高効率給湯器の導入について	
問 8	コージェネレーション設備の使用について	
問 9	太陽光発電設備の導入について	
問 10	太陽熱利用機器の導入について	
問 11	エコカーの導入について	
問 12	エコ資金の認知度	エコ資金の認知度を上げるための施策の必要性の把握
問 13	自由意見(要望や施策に対するご意見やご提案)	事業者意識の把握

2 関心が高い環境問題について

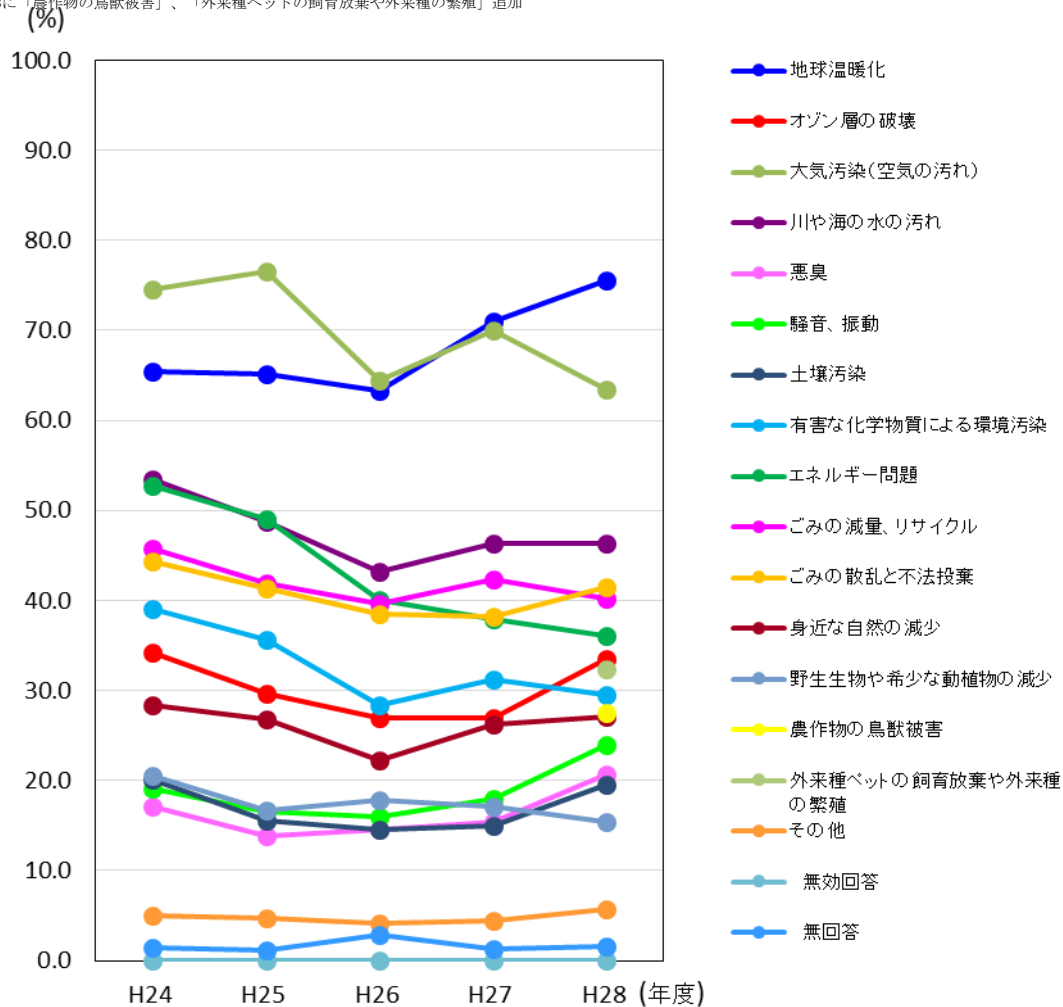
【市民アンケート】

平成 24 年度から平成 28 年度までの市民アンケート調査結果において、**最も関心が高い環境問題は、「地球温暖化」または「大気汚染（空気の汚れ）」**という結果となりました。

また、平成 24 年から平成 28 年度で、**関心が高まった項目**（10 ポイント以上回答率が増加した項目）は「**地球温暖化**」でした。一方、**関心が低くなった項目**（10 ポイント以上回答率が減少した項目）は、「**エネルギー問題**」「**大気汚染（空気の汚れ）**」でした。

	全 体	地球 温暖 化	オ ゾ ン 層 の 破 壊	大 気 汚 染 （ 空 気 の 汚 れ）	汚 川 や 海 の 水 の 汚 れ	悪 臭	騒 音 、 振 動	土 壌 汚 染	に 有 害 な 化 学 物 質 に よ る 環 境 汚 染	エ ネ ル ギ ー 問 題	リ サ イ ク ル の 減 量	不 法 投 棄 と ご み の 散 乱	減 少 し た 身 近 な 自 然 の 植 物 や 動 物	野 生 動 物 や 希 少 な 動 植物	農 作 物 の 鳥 獣 被 害	種 の 繁 殖 や 外 来 種 の 飼 育 放 棄	外 来 種 の 飼 育 放 棄 や 外 来 種 の 繁 殖	そ の 他	無 効 回 答	無 回 答
平成28年度	1094	↑75.5	33.5	↑63.5	46.3	20.7	24.0	19.5	29.5	↑36.1	40.2	41.5	27.1	15.4	27.5	32.4	5.7	0.0	1.6	
平成27年度	1236	↑71.0	26.9	↑70.0	46.3	15.4	17.9	15.0	31.2	↑37.9	42.3	38.2	26.2	17.1	-	-	4.4	0.0	1.3	
平成26年度	1227	↑63.3	27.0	↑64.5	43.2	14.6	16.0	14.6	28.4	↑40.0	39.6	38.5	22.3	17.8	-	-	4.2	0.0	2.9	
平成25年度	1204	↑65.1	29.7	↑76.6	48.8	13.9	16.5	15.5	35.6	↑49.0	41.9	41.4	26.8	16.7	-	-	4.7	0.0	1.2	
平成24年度	1221	↑65.4	34.2	↑74.6	53.5	17.1	19.1	20.1	39.0	↑52.7	45.7	44.4	28.3	20.6	-	-	5.0	0.0	1.5	

H28に「農作物の鳥獣被害」、「外来種ベットの飼育放棄や外来種の繁殖」追加



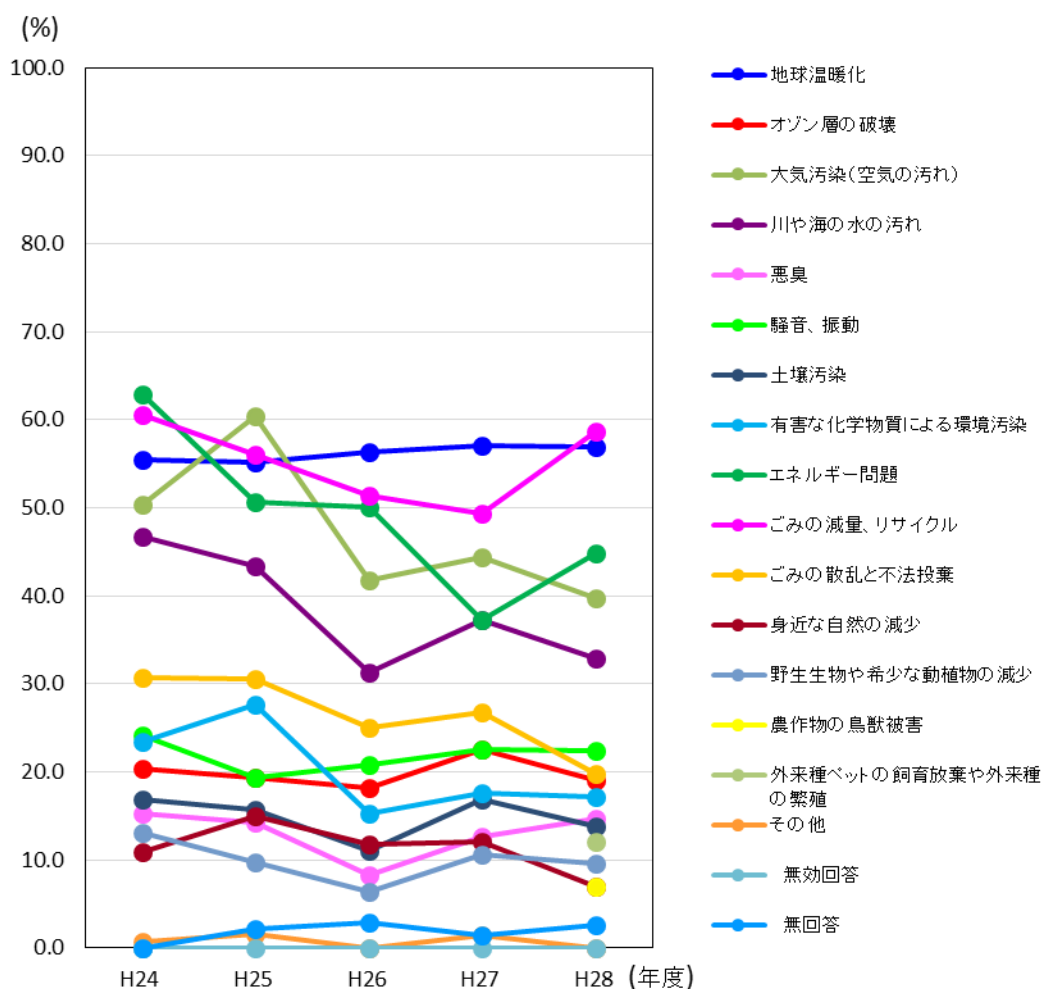
【事業者アンケート】

平成 24 年度から平成 28 年度までの事業アンケート調査結果において、**最も関心が高い環境問題は、「ごみの減量、リサイクル」または「地球温暖化対策」**という結果となりました。

また、平成 24 年から平成 28 年度で、**関心が高まった項目**（10 ポイント以上回答率が増加した項目）は**ありませんでした**。一方、**関心が低くなった項目**（10 ポイント以上回答率が減少した項目）は、「**エネルギー問題**」「**川や海の水の汚れ**」「**ごみの散乱と不法投棄**」「**大気汚染（空気の汚れ）**」でした。

	全 体	地球 温暖化	オゾン 層の破 壊	大気汚染 (空気の 汚れ)	川や海 の水の 汚れ	悪臭	騒音、 振動	土壌汚 染	有害な 化学物 質による 環境汚 染	エネル ギー問 題	リサイ クルの 減量、	不法投 棄とご みの散 乱	身近な 自然の 減少	野生 動物や 希少な 動植物 の減少	農作物 の鳥獣 被害	種々の 繁殖や 外来種 の飼育 放棄	その他	無効回 答	無回 答
平成28年度	116	56.9	19.0	39.7	32.8	14.7	22.4	13.8	17.2	44.8	58.6	19.8	6.9	9.5	6.9	12.1	0.0	0.0	2.6
平成27年度	142	57.0	22.5	44.4	37.3	12.7	22.5	16.9	17.6	37.3	49.3	26.8	12.0	10.6	-	-	1.4	0.0	1.4
平成26年度	144	56.3	18.1	41.7	31.3	8.3	20.8	11.1	15.3	50.0	51.4	25.0	11.8	6.3	-	-	0.0	0.0	2.8
平成25年度	134	55.2	19.4	60.4	43.3	14.2	19.4	15.7	27.6	50.7	56.0	30.6	14.9	9.7	-	-	1.5	0.0	2.2
平成24年度	137	55.5	20.4	50.4	46.7	15.3	24.1	16.8	23.4	62.8	60.6	30.7	10.9	13.1	-	-	0.7	0.0	0.0

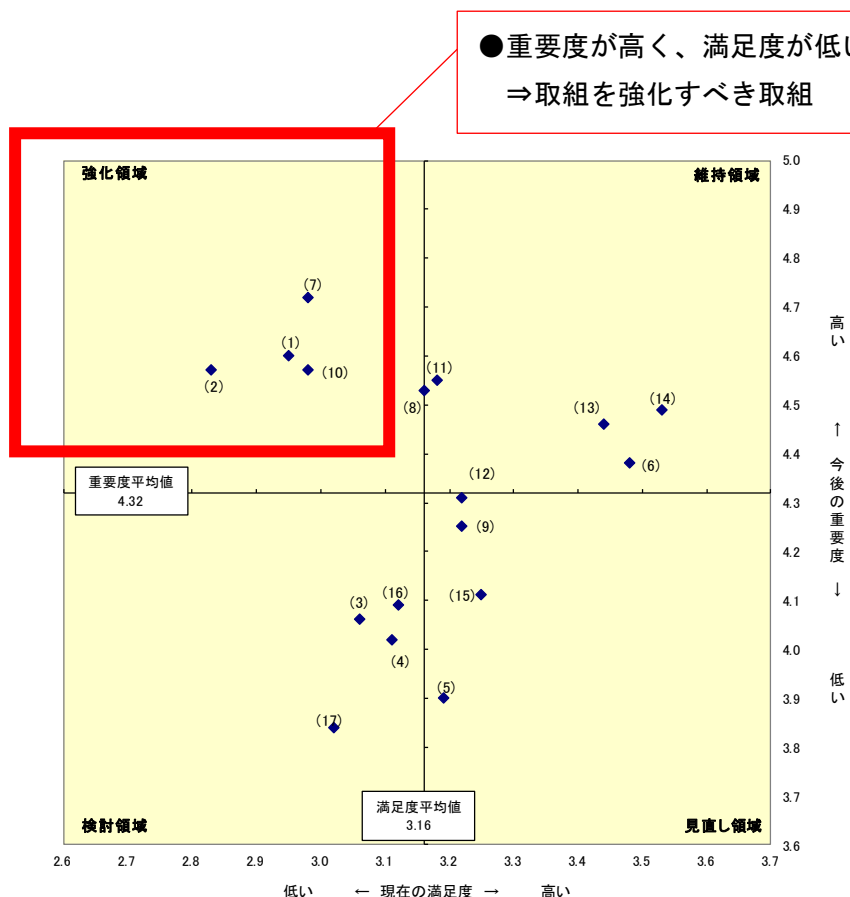
H28に「農作物の鳥獣被害」、「外来種ベットの飼育放棄や外来種の繁殖」追加



3 求められている環境に関する取組

平成 28 年度の市民アンケート調査では、お住いの周辺環境の「満足度」と「重要度」を尋ねる設問を設けました。重要度と満足度を点数化し、散布図を作成して、4つの領域（強化領域、維持領域、検討領域、見直し領域）に結果を図示しました。

まず取り組むべきと考えられる強化領域には、温暖化対策に関連する以下の 4 つの取組（表中の赤字で示している取組）が位置しています。



1. 省エネルギーの取組
2. 再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、水力発電などの枯渇しないエネルギー）の導入
3. 水や水辺とのふれあい（身近に感じられるかどうか）
4. 農地や土とのふれあい
5. 生きもの（野鳥、昆虫、魚など）とのふれあい
6. 自然の景観の美しさ
7. 災害、水害（洪水、浸水など）からの安全性
8. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱など）
9. まち並み（建物、街路、歴史的風情など）の美しさ
10. 水のきれいさ
11. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見え方など）
12. まちの静けさ（騒音や振動）
13. ごみを減らし、できるだけリサイクルする取組
14. ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取組
15. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供（広報誌、テレビ、ホームページなど）
16. 学校・地域での環境学習
17. 環境に関する講座・観察会

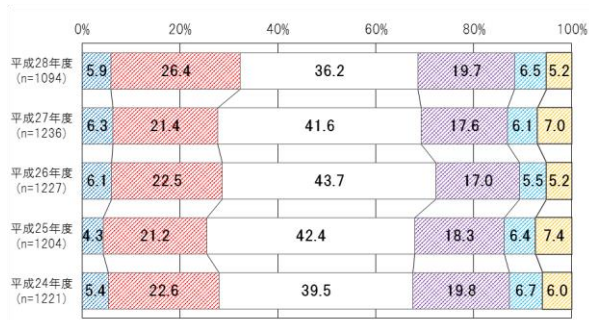
気候変動への影響への備えに関連

4 住まいの周辺環境の満足度

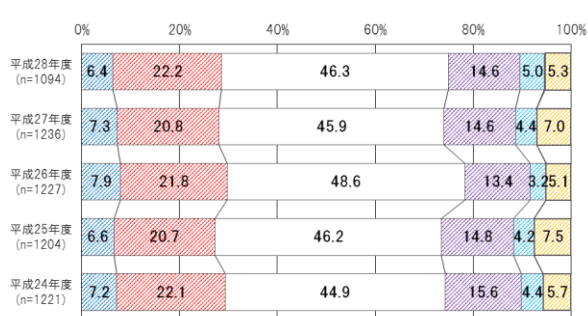
【市民アンケート】

平成 24 年度から平成 28 年度までのアンケート調査結果において、満足度（「満足」「やや満足」という回答）が高まった項目（10 ポイント以上回答率が増加した項目）はありませんでした。一方、満足度が低くなった項目（10 ポイント以上回答率が減少した項目）は、「11. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見える方など）（-10.7%）」でした。

3. 水や水辺とのふれあい（身近に感じられるかどうか）



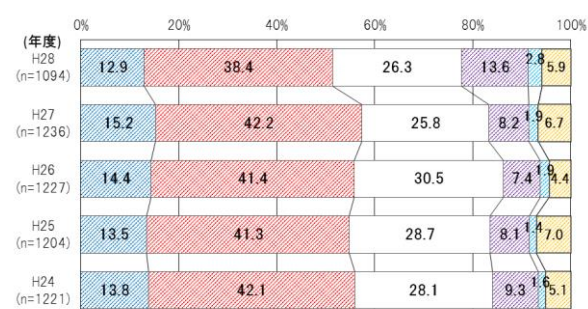
4. 農地や土とのふれあい



5. 生きもの（野鳥、昆虫、魚など）とのふれあい



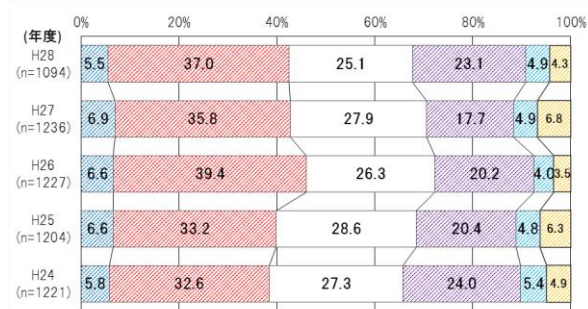
6. 自然の景観の美しさ



7. 災害、水害（洪水、浸水など）からの安全性



8. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱など）

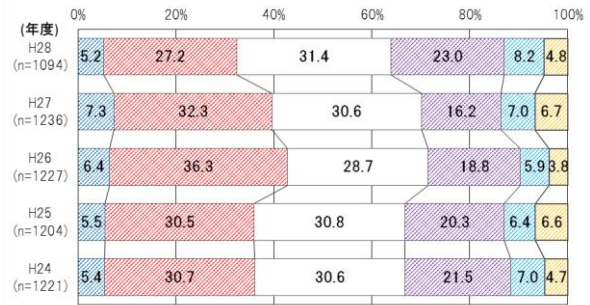


満足
 やや満足
 どちらともいえない
 やや不満
 不満
 無効回答

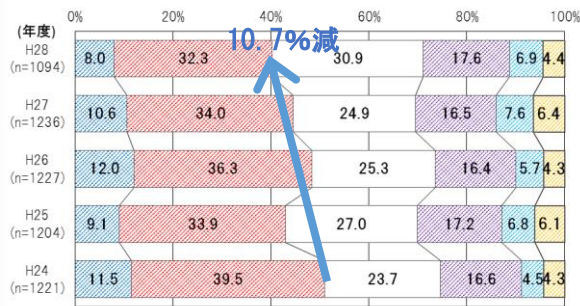
9. まち並み（建物、街路、歴史的風情など）の美しさ



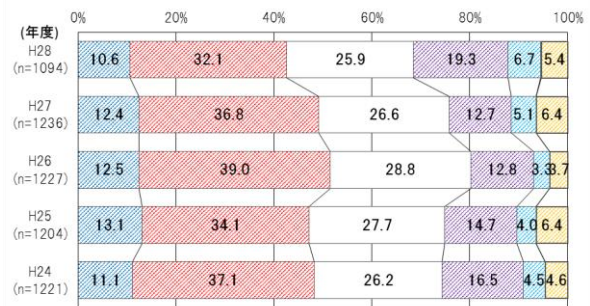
10. 水のきれいさ（河川・水路・池沼・海など）



11. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見える方など）



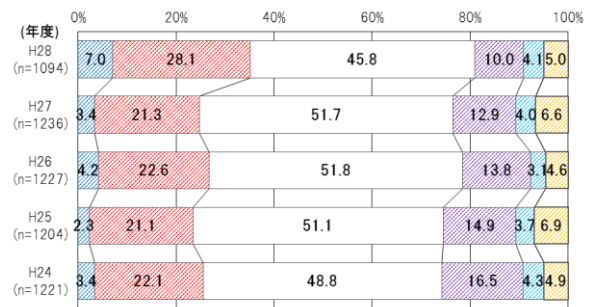
12. まちの静けさ（騒音や振動）



13. ごみを減らし、できるだけリサイクルする取組



15. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供（広報誌、テレビ、ホームページ）



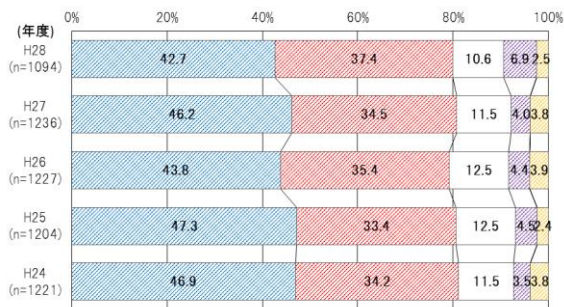
満足 やや満足 どちらともいえない やや不満
 不満 無効回答 無回答

5 日頃の環境に関する取組の状況

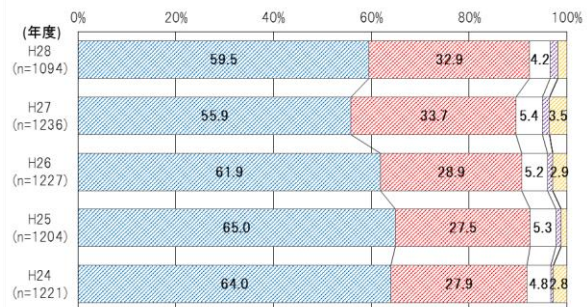
【市民アンケート】

平成 24 年度から平成 28 年度までのアンケート調査結果において、取組度(「いつも」「ときどき」という回答)が高まった項目 (10 ポイント以上回答率が増加した項目)、取組度が低くなった項目 (10 ポイント以上回答率が減少した項目) は、ありませんでした。

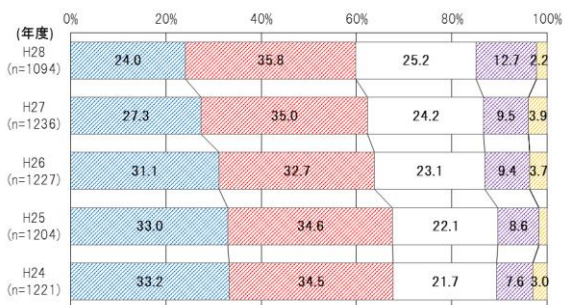
1. 冷暖房の設定温度は、冷房は 28℃・暖房は 20℃を目安として、省エネに心掛けている。



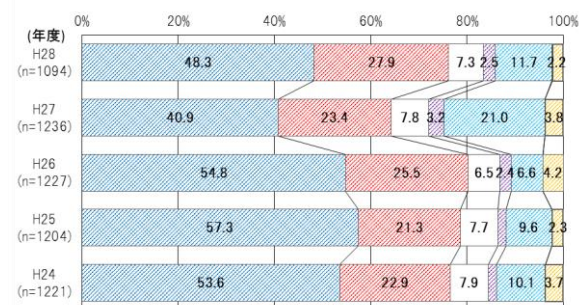
2. テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしている



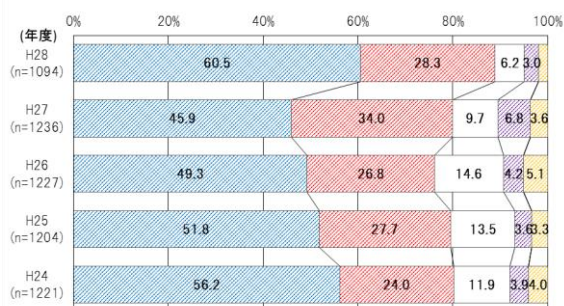
3. 使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いている



4. シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている



5. 皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている



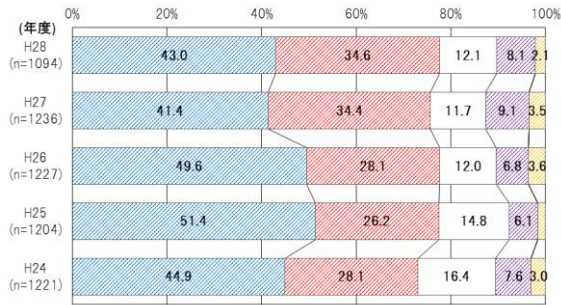
6. 風呂の残り水を洗濯に使うなど、日常生活で節水に努めている



■ いつも行っている
■ 行っていないが今後行いたい
■ 該当しない
■ 無回答

■ 時々行っている
■ 今後も行わない、または行っていない
■ 無効回答

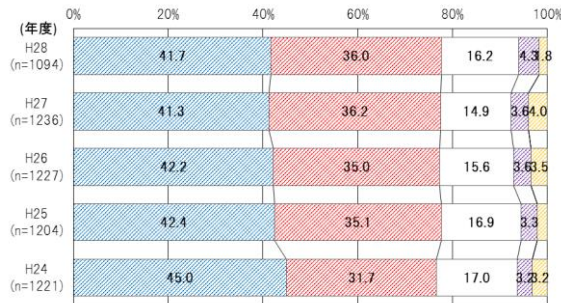
7. 買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている



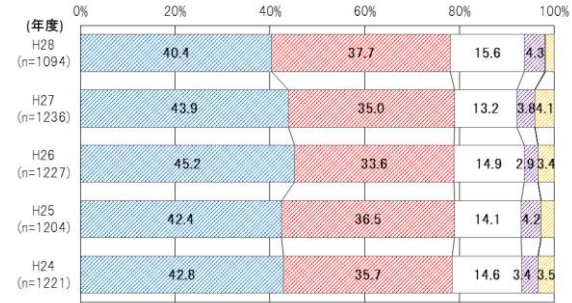
8. 食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている



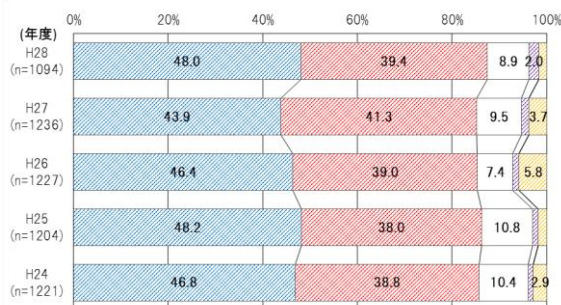
9. 生ごみの減量化に取り組んでいる



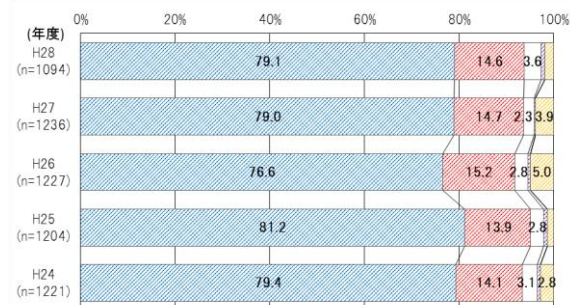
10. 詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエマークのついた商品を優先して購入している



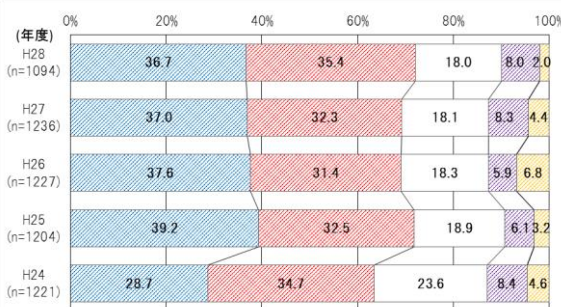
11. 物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている



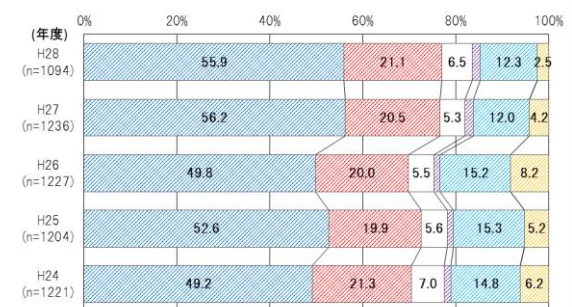
12. ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている



13. 油、食べ残しや米のとぎ汁を排水口へ流さないようにしている



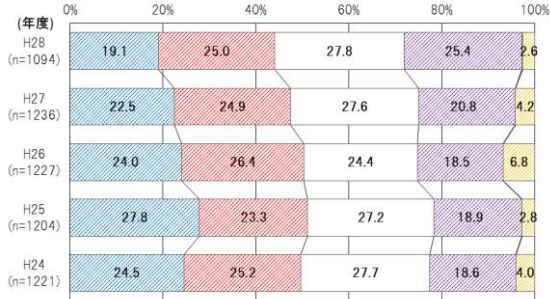
14. 自動車を使用する際には、不要なドリング、空ふかしや急発進などをしないようにしてドライブを行っている



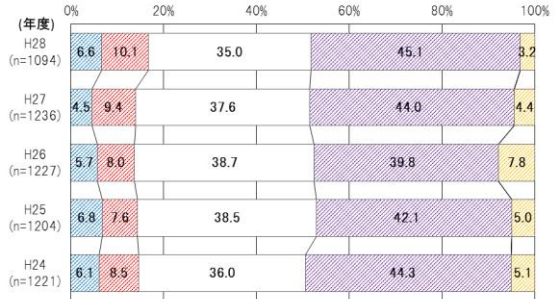
■ いつも行っている
■ 行っていないが今後行いたい
■ 該当しない
■ 無回答

■ 時々行っている
■ 今後も行わない、または行っていない
■ 無効回答

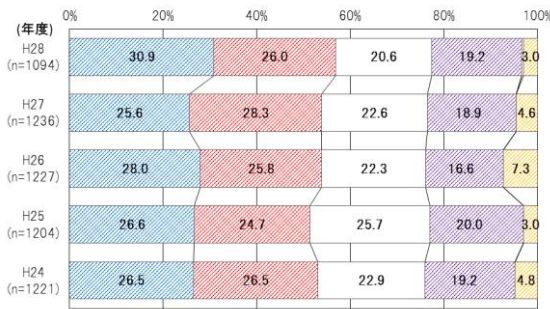
15. なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている



16. 環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている



17. 地域における環境保全活動に参加している（地域の清掃、資源集団回収など）



18. 休日などはできるだけ外出し、自然とふれあうように心がけている



19. 食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている



- いつも行っている
- 行っていないが今後行いたい
- 該当しない
- 無回答
- 時々行っている
- 今後も行わない、または行っていない
- 無効回答

6 環境保全の取組

【事業者アンケート】

平成 24 年度から平成 28 年度までのアンケート調査結果において、取組度(「いつも」「ときどき」という回答)が高まった項目 (10 ポイント以上回答率が増加した項目) は、「3. エコカー (低公害車や低燃費車) を導入している」(11.6%増) でした。一方、取組度が低くなった項目 (10 ポイント以上回答率が減少した項目) は、「6. 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている」(13.1%減)、「5. 冷暖房の時間短縮や設定温度 (目安：冷房 28℃、暖房 20℃)」(11.3%減) でした。

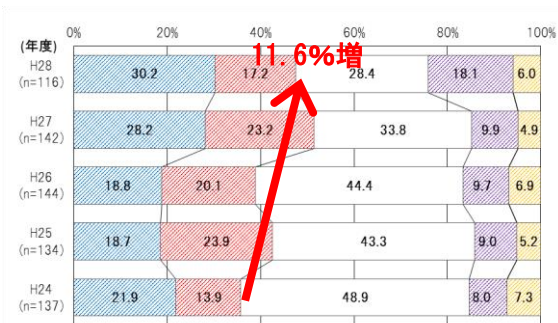
1. コピー用紙には再生紙を使用している



2. 古紙を使ったトイレトペーパーを使用している



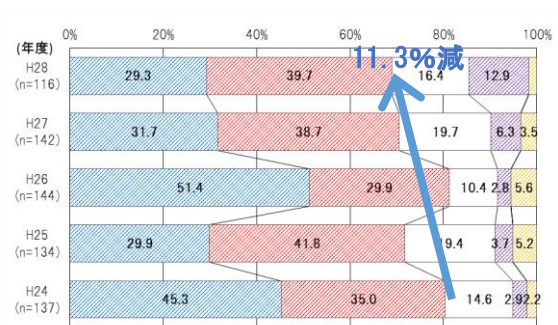
3. エコカー (低公害車や低燃費車) を導入している



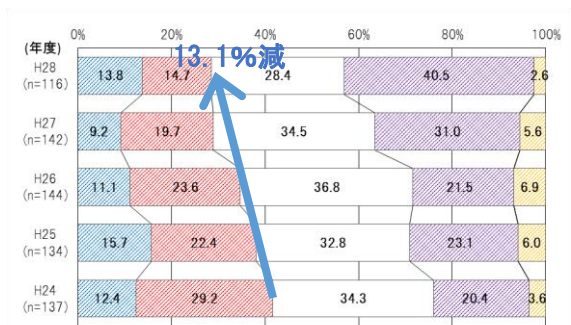
4. 昼休み等、不要な時は電気を消灯している



5. 冷暖房の時間短縮や設定温度 (目安：冷房 28℃、暖房 20℃)



6. 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている



いつも行っている
 行っていないが今後行いたい
 該当しない
 無回答

時々行っている
 今後も行わない、または行っていない
 無効回答

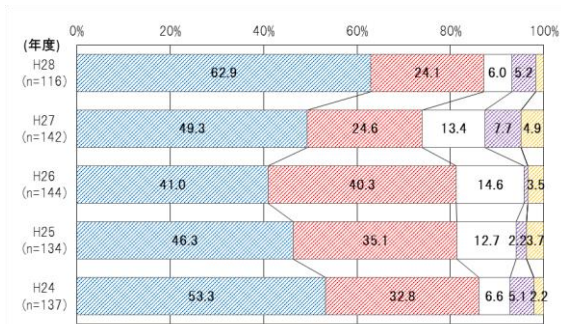
7. 省エネのため製造工程や製造ラインを改善している



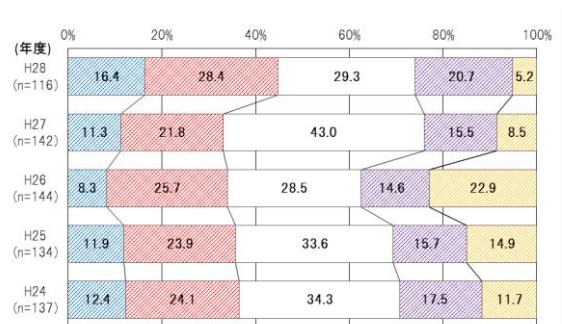
8. 雨水や一時使用した水を再利用している



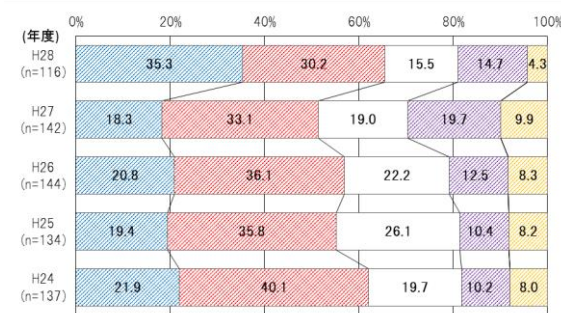
9. コピー用紙の使用量を減らしている
(両面コピーや裏紙の利用等)



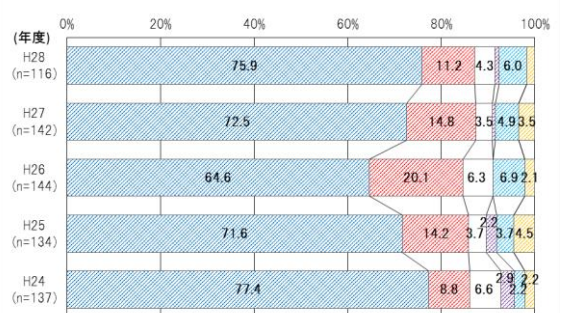
10. グリーン購入を行っている



11. 包装・梱包の削減、再利用をすすめている



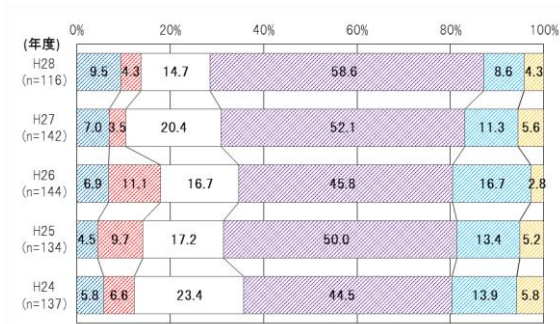
12. 紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックスを設置し、分別して適正に処理している



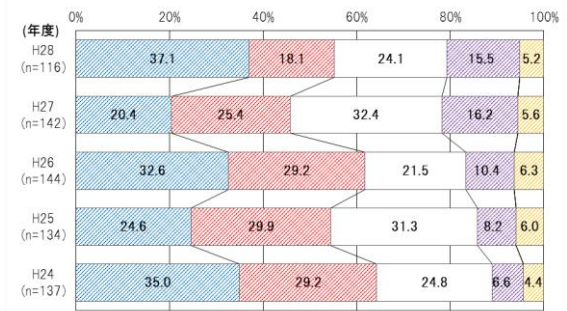
- いつも行っている
- 行っていないが今後行いたい
- 該当しない
- 無回答

- 時々行っている
- 今後も行わない、または行っていない
- 無効回答

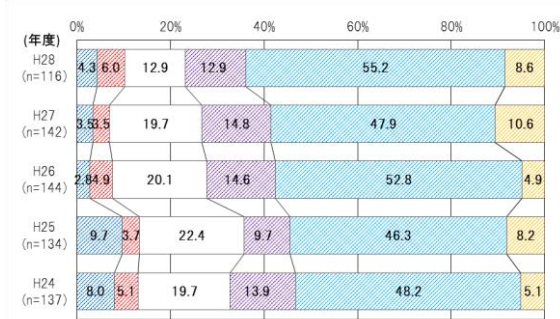
13. 従業員のマイカー通勤は自粛させている



14. 不必要なアイドリングをやめるよう徹底している



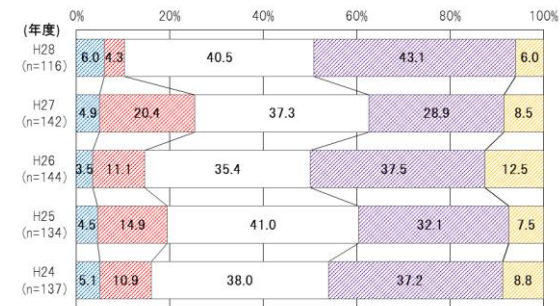
15. 省エネのための効率的な輸配送システムがある



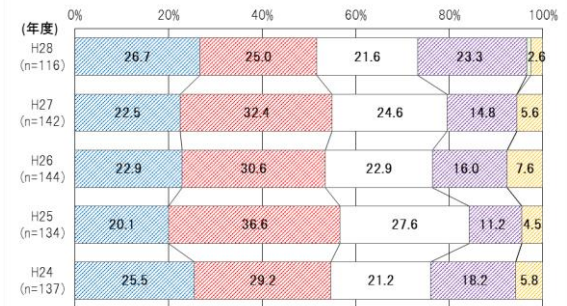
16. 事業所内や周辺地域の緑化に努めている



17. 環境保全に関する従業員研修を実施している



18. 事業所周辺や、公園や道路の清掃など地域活動へ参加している



- いつも行っている
- 時々行っている
- 行っていないが今後行いたい
- 今後も行わない、または行っていない
- 該当しない
- 無効回答
- 無回答